

# 令和3年度地方創生関連交付金事業の効果検証について(地方創生拠点整備交付金)

資料1-2

<交付金の趣旨>

地方公共団体が進めている地方版総合戦略に基づく自主的・主体的な地域拠点づくりなどの事業について、地方の事情を尊重しながら施設整備等の取組を進めることを目的として創設されたもの。

<対象事業>

地方公共団体において、それぞれの地方版総合戦略に位置付けられた(ないしは位置付けられる予定である)事業であって、未来への投資に重点を置きつつ、地方創生の深化に向けて、効果の発現が高い施設など。

No.	事業名 担当課 計画期間	令和3年度 予算額 (円)	令和3年度 実績額 (円)	交付金 補助率	事業概要および事業内容	総合戦略における事業 の位置付け	重要業績評価指標 (KPI)		事業終了後の実績値 (青: 目標達成、赤字: 未達)		実績値を踏まえた事業の今後について	
							指標	目標値	実績値	事業効果 ※1	今後の方針 ※2	今後の方針の理由
1	(1) 事業名 常盤学区における地方 創生拠点整備プロジェクト  (2) 担当課 まちづくり 協働課  (3) 計画期間 平成29年度 ～令和3年度	—	—	—	<p><b>【事業概要】</b> 地域のまちづくりの拠点である常盤まちづくりセンターの改築にあわせて、農業振興スペースを整備し、調理室・サロンを隣接させ、農業振興スペースを活用した農業振興や地域の農産物を活かしたコミュニティカフェの実施等、地域の特色を活かしたコミュニティビジネスの展開を推進する。</p> <p><b>【事業内容】</b> ・常盤まちづくりセンターの改築にあわせて、コミュニティビジネスの拠点として、「農業振興スペース」、「調理室」、「サロン」を整備する。</p>	戦略目標 にぎわい・再生プロジェクト	(1) 地方創生拠点としての常盤まちづくりセンターでのコミュニティビジネスの実施による収入の増 現状値:H28 0円	R 3 500,000円	R 3 83,205円	地方創生に効果があった (KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合)	事業の終了 (当初予定通り事業を終了する(または、した)場合)	令和3年度末で、「常盤学区における地方創生拠点整備プロジェクト」の計画期間が終了したため。今後も常盤まちづくりセンターを拠点とした農業振興や地域活性に関する事業等を、地域の協力のもと実施するとともに、先行事例地への研修・講演会の開催等を進めていく。
(2) 地方創生拠点としての常盤まちづくりセンターの利用者数の増に伴う施設利用料収入の増 現状値: H28 59,000円	R 3 299,000円	R 3 135,300円										
(3) 地方創生拠点の波及効果を含めた草津市の農業生産額の増 現状値: H28 2,590,000,000円	R 3 2,610,000,000円	R 3 2,570,000,000円										

※1 「事業終了後の実績値」欄のうち、「事業効果」欄については、以下に基づき評価を行いました。

選択肢	基準
地方創生に非常に効果的であった	全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
地方創生に相当程度効果があった	一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね(7~8割程度)成果が得られたとみなせる場合
地方創生に効果があった	KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
地方創生に対して効果がなかった	KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合

※2 「実績値を踏まえた事業の今後について」欄のうち、「今後の方針」欄については、以下の基準等を踏まえて、令和4年度以降の方針を示しました。

選択肢	基準
事業の発展	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる場合
事業の改善	事業の効果が不十分であったことから見直し(改善)を行う(または、行った)場合
事業の継続	計画通りに事業を継続する場合
事業の中止	継続的な事業実施を予定していたが中止する(または、した)場合
事業の終了	当初予定通り事業を終了する(または、した)場合